

教材・教具名 「みんなで遊べるチャレンジ自活教材」
 所属部署 小学部 自立活動部

- 1 対象となる幼児児童生徒
小学部児童（肢体不自由）
- 2 教材を使用する活動
チャレンジ自活（各学年合同の抽出自立活動の時間）
- 3 ねらい
遊びの要素を取り入れダイナミックに身体を動かす場を設定し、感覚に働きかけながら楽しい雰囲気
を共有して活動する。

4 教材について

教材紹介	特徴・使い方・配慮点
<p>○バルーンルーム</p> <p>・小さく仕切った部屋の中で、大小の風船に風を送って舞い上がらせ、その中で遊ぶ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分でコンプレッサーのホース持って風を当てて遊ぶことができる。 ・風船の動きを楽しみながら、風の吹きつけられる感覚を楽しむことができる <p>〈配慮点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇風機やコンプレッサーの向きを調整して風船が高く舞い上がるようにする。 ・児童に風船を怖がっている様子が見られたら活動を中断する。
<p>○ボールサーフィン</p> <p>カラーボールを床に敷き詰め、その上をクッションマットに乗り滑って移動する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・マットごしに背中でボールの感触を味わいながら前後左右に移動することができる。 ・ボールプールの周りの友達や教師に囲まれているので楽しい雰囲気です活動することができる。 <p>〈配慮点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がマットから落ちないように、怖がらないようスピードや滑る方向等に注意する。

○エアトランポリン滑り台

エアトランポリンに傾斜をつけて滑ったり、登ったりして遊ぶ。



- ・エアトランポリンにクッション性があるので安全に活動できる。
- ・滑るときは滑りやすいようサテン地の布を引いて教師が引っ張ってスピードを調整する。
- ・可能な児童は斜面を登る運動を行う。

〈配慮点〉

- ・児童が滑ってくる場所にマットを敷き、着地の衝撃を和らげる。
- ・児童がマットから落ちないように、怖がらないようスピード、体勢等に留意する。

○卵パッククッション

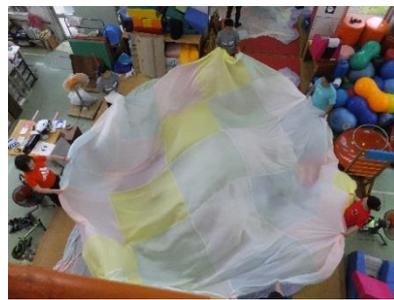


- ・布団用シーツに卵パックを詰め込みクッションにする。
- ・ポジショニング、卵パックの感触を味わう。



○ミュージックケアバルーン

児童は大型バルーンに上に乗って、教師が曲に合わせて上下のバルーンを動かす。



- ・バルーンの布が透けているので光の差し込みや、風、布の感触を味わうことができる。